

横浜型医療的ケア児・者等支援促進事業の取組状況について

1 横浜型医療的ケア児・者等コーディネーターの活動実績について

(1) 相談支援について（令和5年度4月～12月）

ア 相談件数：延 532 件（うち新規 301 件） ※前年同時期 延 539 件（うち新規 303 件）

ア) 1 拠点あたりの、1 か月ごとの平均相談件数は約10件で、昨年度と同様の傾向でした。

イ) 新規の相談も、昨年度と同程度の件数を受けています。

拠点名	4～6月		7～9月		10～12月		1～3月		合計	
	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数	新規	総数
青葉区	27	36	19	19	22	28			68	83
都筑区	37	40	32	41	25	33			94	114
鶴見区	12	19	16	24	12	15			40	58
旭区	12	23	6	20	14	28			32	71
南区	4	36	12	34	14	53			30	123
磯子区	11	30	13	26	13	27			37	83
合計	103	184	98	164	100	184			301	532

イ 相談対象者の年齢

ア) 例年同様、「幼児②（3～6歳未満）」の比率が最も多くなっています。

イ) 昨年度と比較すると「幼児①（1～3歳未満）」17.3%から25.4%と大きく増えています。

《前年同時期》

相談対象者の年齢	新規件数	延件数	%
乳児（1歳未満）	38	53	10.0%
幼児①（1～3歳未満）	80	135	25.4%
幼児②（4～6歳未満）	54	137	25.8%
児童①小学生（6～12歳未満）	54	90	16.9%
児童②中学生（12～15歳未満）	11	23	4.3%
児童③高校生（15～18歳未満）	19	35	6.6%
18歳以上	34	45	8.5%
年齢不明	11	14	2.6%
合計	301	532	100%

延件数	%
53	9.8%
93	17.3%
145	26.9%
90	16.7%
34	6.3%
23	4.3%
71	13.2%
30	5.6%
539	100%

ウ 相談者（延数）

ア) 相談者は、昨年度と同様に「家族」が最も多くなっています

イ) 昨年度に比べると「福祉保健センター」や「保育園」からの相談が増えました。

《前年同時期》

相談者	件数	件数
家族	116	153
福祉保健センター（区役所）	95	53
病院	87	104
基幹相談支援センター	59	23
訪問看護ステーション	48	67
保育園	46	20
福祉施設	16	53
相談支援専門員	13	15
療育センター	11	10
学校	1	14
その他	40	27
合計	532	539

エ 相談内容（重複あり）

「福祉サービス」に関する相談が最も多く、次いで「保育園・幼稚園等」となっています。

前年度と項目が一部異なっているため、参考としてください。 《前年同時期》

相談内容	件数	件数
福祉サービス	162	128
保育園・幼稚園等	137	107
訪問看護	89	80
学校	67	77
退院調整	62	64
医療的ケア	61	—
医療機関	39	—
計画相談支援	31	—
レスパイト	25	40
年齢移行	10	7
合計	683	その他 185

(2) コーディネーターの支援とネットワークづくり

ア コーディネーター定例会

コーディネーターと本市担当者、医師会担当者が月1回定例会を行っています。定例会では、福祉的な視点の強化や関係機関との連携をテーマにした講義やワークを実施し、コーディネーターのスキルアップを図っています。その他、各種制度等の情報共有や調整状況の共有なども行っています。

イ 地域でのネットワーク形成と普及啓発（令和5年12月末時点）

関係機関の連絡会や研修会等にコーディネーターが出席し、本事業の普及啓発を行うとともに、関係機関との連携強化や、地域の支援者への助言・技術支援なども行っています。

ア) コーディネーターが出席した連絡会等

- 区自立支援協議会（重心部会等）
- 区訪問看護連絡会
- 区保育園看護師連絡会
- 区多職種会議
- 医ケア児・者等家族会

イ) コーディネーターが訪問した関係機関等

- 特別支援学校
- 放課後等デイサービス事業所
- 横浜リハビリテーションセンター
- 療育センター
- 神奈川県立こども医療センター
- こどもホスピス
- 地域子育て支援拠点

ウ) 地域の支援者への助言・技術指導等

- 保育園
- 特別支援学校
- 基幹相談支援センター
- 横浜リハビリテーションセンター
- 在宅医療連携拠点

2 コーディネーターの養成について

令和4年度に「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」を実施し4名を養成し、令和5年度から6拠点のうち鶴見区・青葉区・都筑区及び旭区の4拠点に2名のコーディネーターを配置しています。

なお、令和6年度にはコーディネーター候補者を養成し、令和7年度からは全6拠点が2名体制となる予定です。

(1) コーディネーター候補者について

磯子区・南区コーディネーター拠点を設置している区医師会訪問看護ステーションに所属する訪問看護師 2名

(2) コーディネーター養成の研修について

「横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター養成研修」は、国の「医療的ケア児等コーディネーター養成研修」のカリキュラムだけでなく、医療機関・福祉施設・学校等での実地研修を加えた内容としています。

3 各種研修の実施状況について

(1) コーディネーターのフォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等コーディネーター 10名

イ 目的

コーディネーターの役割を確認し、活動について振り返る機会をもつ。

ウ 講師

一般社団法人 医療的ケア児等コーディネーター支援協会（委託）

エ 実施内容

ア) 集合研修（※定例会に併せて実施） <現地参加と各拠点からのWeb参加併用>

4月21日	子どものウェルビーイングの維持向上を目的としたアセスメント① (ストレングスモデルの視点)
5月26日	子どものウェルビーイングの維持向上を目的としたアセスメント② 演習 (ストレングスモデル)
6月23日	親のペアレンティングのアセスメント①
7月28日	親のペアレンティングのアセスメント② 演習
8月25日	子どもの権利
9月22日	看護職から見た福祉とは
10月20日	医療的ケア児・者コーディネーターとしての基本的な態度とハラスメント
11月24日	児童福祉法、障害者総合支援法の事業所のアセスメント (医療安全管理の視点)
12月22日 (Web参加のみ)	活動地域の事業所のアセスメントの演習
1月26日	活動地域に必要な地域資源の作り方1 演習
2月16日	活動地域に必要な地域資源の作り方2 演習
3月22日	(予定) 活動地域に必要な地域資源の作り方3 演習

イ) 個別面談及び演習

令和5年10月20日（金）

面談：9時00分～11時00分、13時00分～16時00分

演習：11時～12時

(テーマ) 活動の振り返り、悩みや課題の確認

(2) 支援者フォローアップ研修

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修受講者

イ 目的

- ア) 支援者に継続して地域で活躍してもらうために、支援や連携に必要な、現場で知りたい内容等について伝え、継続的にフォローする。
- イ) コーディネーターと地域の支援者が顔が見え、連携できる関係を作る。

ウ 講師

横浜市総務局地域防災課・健康福祉局福祉保健課

エ 日時・場所

令和6年1月25日（木） 15時00分～17時00分

市庁舎会議室

オ 参加者

26名

カ 内容

「多職種で考える災害対策」

- ア) 講演 「横浜市の災害対策（体制）」 総務局地域防災課
「医療的ケア児・者の災害対策」 健康福祉局福祉保健課

- イ) グループワーク「支援者として平時にできる災害対策」

(3) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修

ア 対象者

市内訪問看護ステーション所属の訪問看護師、障害福祉サービス事業所、保育園・幼稚園・学校・医療機関等で従事する方の中で医療的ケア児・者等の支援に関心がある方（定員：50名）

※スポット受講は定員を設けず、ZOOMでの参加が可能

イ 目的

「横浜型医療的ケア児・者等支援者」として、医療的ケア児・者等支援及び多職種連携についての基礎的知識の習得し、医療的ケア児・者等支援に関する医療・福祉・教育等に関する知識及び関係者との連携について学習する。

※本研修を全講座来場で受講し、修了した方には「横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修」修了証書を交付します（「要医療児者支援体制加算」の算定要件の一部です）。

ウ 時期

令和5年5月25日（木）から12月3日（日）まで

16講座 全8日間

エ 修了者

57名（※全講座に来場で受講し、修了した者）

オ その他

支援者養成研修修了者の所属する事業所等の一覧をホームページ上で公表します。

(4) 横浜型医療的ケア児・者等支援者養成見学実習

ア 対象者

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者及び横浜市が認める者※

※横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者が所属する施設に従事している職員、医療的ケア児・者の受入れが決定している施設の職員等

イ 目的

横浜型医療的ケア児・者等支援者養成研修修了者等が、必要な知識・技術の習得のために訪問看護ステーション等で見学実習を行い、自身が所属する施設・事業所等において、医療的ケア児・者等の受入れを進める。

ウ 内容

- ア) 習得したい医療的ケアを実践している訪問看護ステーションの看護師に同行し、医療的ケアの準備から実践、観察ポイントや家族のやりとり等、説明の様子を見学する。
- イ) 医療的ケア児・者が利用予定の施設に講師である訪問看護ステーションの看護師が伺い、医療的ケアの実践、観察ポイント等についてのアドバイスや情報交換を行う。

エ 時期

令和5年6月末から令和6年3月末まで（令和5年6月末から募集開始）

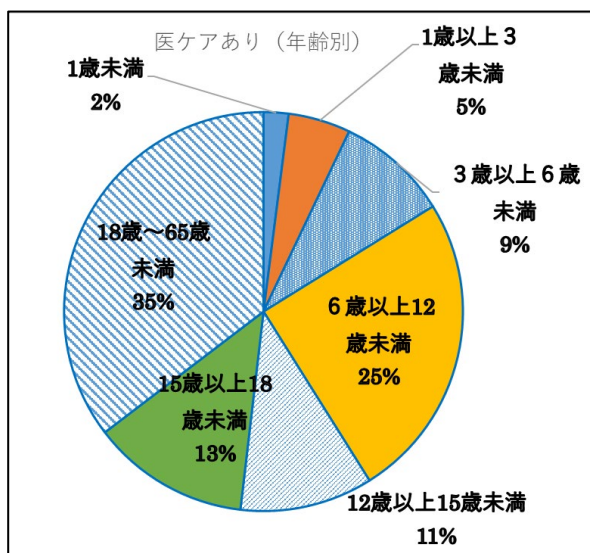
オ 参加者及び申込状況（令和6年1月末時点）

9名（申込10名中1名辞退）

4 実態把握について

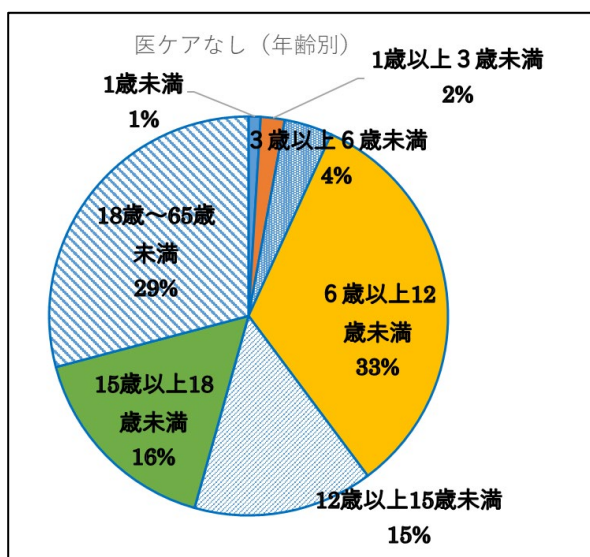
登録者数（令和5年12月末日時点）：413人

①年齢別及び医療的ケアの有無

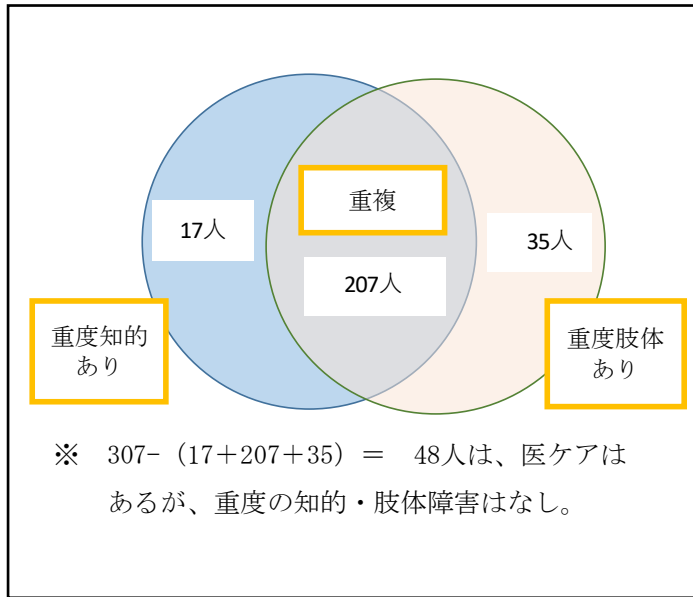


②区別及び医療的ケアの有無（人）

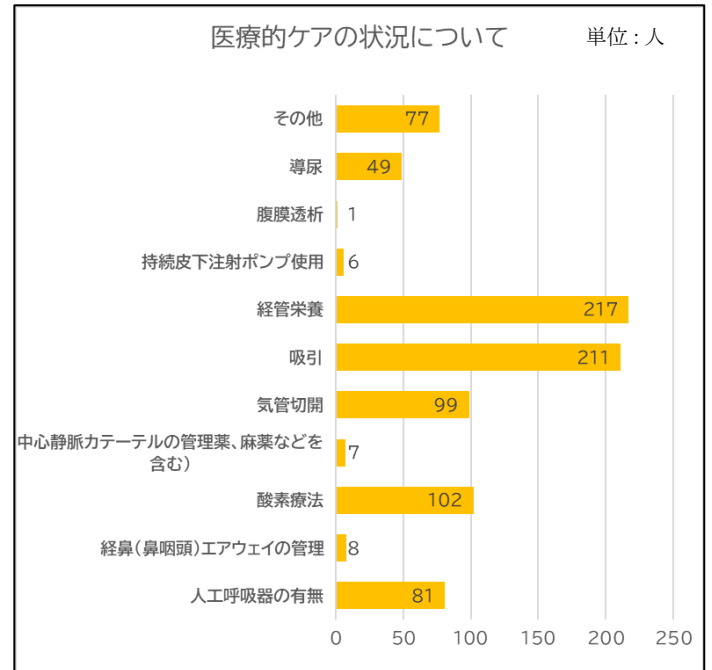
区名	医療的ケアの有無		未記入	計	割合
	医ケアあり	医ケアなし			
鶴見区	21 6.8%	12 11.4%	0 -	33	8.0%
神奈川区	16 5.2%	2 1.9%	1 100.0%	19	4.6%
西区	13 4.2%	4 3.8%	0 -	17	4.1%
中区	10 3.3%	3 2.9%	0 -	13	3.1%
南区	22 7.2%	1 1.0%	0 -	23	5.6%
港南区	14 4.6%	8 7.6%	0 -	22	5.3%
保土ヶ谷区	15 4.9%	4 3.8%	0 -	19	4.6%
旭区	21 6.8%	9 8.6%	0 -	30	7.3%
磯子区	13 4.2%	1 1.0%	0 -	14	3.4%
金沢区	15 4.9%	0 0.0%	0 -	15	3.6%
港北区	36 11.7%	15 14.3%	0 -	51	12.3%
緑区	11 3.6%	13 12.4%	0 -	24	5.8%
青葉区	21 6.8%	9 8.6%	0 -	30	7.3%
都筑区	21 6.8%	6 5.7%	0 -	27	6.5%
戸塚区	22 7.2%	7 6.7%	0 -	29	7.0%
栄区	11 3.6%	2 1.9%	0 -	13	3.1%
泉区	12 3.9%	7 6.7%	0 -	19	4.6%
瀬谷区	13 4.2%	2 1.9%	0 -	15	3.6%
計	307 100.0%	105 100.0%	1 100.0%	413	100.0%



③医療的ケア有りとは回答した方（307人）
のうち、重度知的障害と重度肢体障害がある方

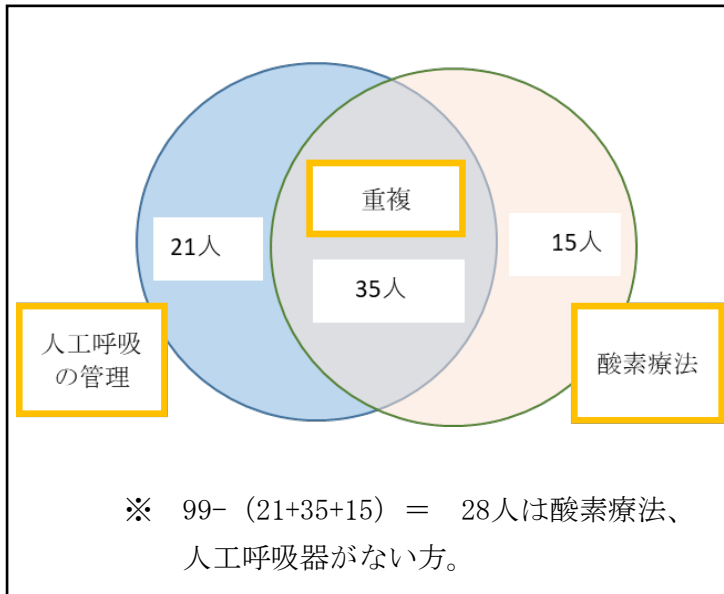


④医療的ケアの状況について



(参考) 障害の重複状況について

①気管切開の方（99人）の医療的ケア重複状況



②人工呼吸器と経管栄養の重複状況

